

会議名称：令和4年9月度期古賀市社会教育委員の会議

日時：令和4年9月20日（火） 18時30分～19時40分

場所：リーパスプラザこが交流館 103洋室

主な議題：社会教育関係団体に対する補助金の意見集約

第3次生涯学習基本計画策定に係る市民アンケートについて

第8回笑顔のつどいについて

傍聴者数：0名

出席者：井浦議長、國友委員、村山委員、秋山委員、角森副議長、橋爪委員、光永委員

（以上委員7名）

欠席者：丸井委員、塚委員

事務局：生涯学習推進課 樋口生涯学習課長、村上参事補佐、小嶋、平川

配布資料：レジュメ、市民アンケート（案）、笑顔のつどい まとめ

会議内容：以下のとおり

井浦議長

せっかくの3連休でしたけれども、大型の台風が福岡を縦断していくということになりました。事務局の皆さん、市の職員の皆さんは、避難所の開設等でご苦労なされたんじゃないかと思います。どうもお疲れ様でした。私の所は影響は特にありませんでした。

先週、22年ぶりに昔の仲間、後輩から結婚式の案内状が届きました。

22年ぶりということで本人も40近いんですけれども、コロナ禍でなかなかできなかったということです。この新郎が、福岡県の青年の船、これが青年の翼に代わって3年目ですから。ちょうど2000年なんですけど、グローバルウイング2000ということで、ドイツとスウェーデンに行った時のメンバーです。ちょうど私その頃、県庁の生涯学習課の方におりましたので、教育班のリーダーで乗ってくれんかっていうことで声がかかって、乗った時に教育に興味を持った大学生たちを連れてきました。あとは福祉と環境が二班ずつありました。彼、今は小学校の先生をしています。

古賀の方も少年の船は沖縄の方向行って、先日無事に帰ってきたということなんですけれども、やはり若い時にそういう経験をした子は、いい刺激になって、目標を持ってやっていけるのかなど。当時行った教育のメンバーで、教職に就いたのが3人で、メンバー同士で結婚して、家業として保育園を継いだのが1人、半分以上が教育関係にいるようです。

11月に結婚式ということですので、22年ぶりに会って、また色々話ができればなどと思います。

ちょうど古賀市の少年の船の補助金の件もありましたが、少年の船に乗った子が、数年後、また古賀で活躍するような子になってくれたらなと思っているところです。

今日は補助金の件、市民アンケートの件、そして笑顔つどい来年度の分について協議していきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

事務局

では協議事項1、社会教育関係団体に対する補助金の意見書について お話させていただきます。

今回、社会教育団体助金に対し出た意見についてまとめておりますので、2枚目のレジュメをご覧ください。2回分の意見集約しております。

7月期の会議では生涯学習推進課の2つの補助金、PTCA 連合会事業補助金、スポーツ大会奨励補助金のご質問をいただきましたが、補助金のあり方自体についてのご意見はなしといったところでした。

8月期、前回については、青少年育成課の3つの補助金について、中でも子ども会育成会の補助金については、今後も指導や助言をするよう意見いただきまして、青少年支援課の担当課長が同席し、ご意見をお聞きしました。この点は次回にしっかりつなげていきたいと思えます。ただ、補助金自体については特段ご意見なしということでしたので、今回は指摘事項なしということで、令和4年度意見書は提出しないといった形でまとめさせていただきます。

井浦議長

意見書そのものがなくなるということですね。

事務局

そうですね。

井浦議長

補助金は継続して出していくが意見としては協議の中ではなかったということでしょうか。

事務局

では2、市民アンケートについて、冊子にしたものと回答用紙をお渡ししております。QRコードや最後のページの図などまだ入っていませんが、これが市民に送付する最終の様式になります。

では前回からの変更点を中心にお話しさせていただきます。

あなたについて教えて下さいの6番に、古賀市に住んで何年かをお聞きしております。これでリーバスプラザこがや事業が、住んで間もないから知らないのか、または長く住んでいる方にも知名度が低いのかなどを知っていきたいと思えます。

それから7番8番が前回似ていると指摘があった質問ですが、7番を熱心に取り組んでいくこと、こちらに、家族、友人、地域、仕事、学校勉強と大きなものを入れ、8番の興味が

あるものに細分化した事項を入れています。また、8番は選択肢が多いため選択は5つまでとさせていただきます。

井浦議長

6番はあった方がいいですね。古賀市に来て何年かで知ってる・知らないの対比ができるところも多いんじゃないかと思います。

12番のお金は表記としてはどうでしょうか。

事務局

言い換えるなら資産とかでしょうか。ただ、お金という表現が一番ストレートで分かりやすいです。

議長

収入支出、全部含むんですね。家計も。

事務局

では9番の情報収集はそのまま、10番11番を付け加えております。自宅・学校・職場以外に居心地のいい場所がありますか、どのような場所に行きつけにしたいと思いますか。この2問については、公共施設を居心地のいい場所と感じてもらえるようにするための設問になります。

昨今、サードプレイスという言葉がよく言われております。ファーストプレイスが自宅、セカンドプレイスが職場や学校、それ以外に居心地のいい場所が持てるか、人生を豊かにしてゆとりを作る場所が大切になってくる。アンケートに答えてくれる方がどういう場所に居心地の良さを感じているか、何故感じるか、様々な世代にニーズを尋ねたいと思います。

村山委員

行きつけにしている場所の設問、最後に「場所」というのがついてるのとついてないのがあるんですよ。近所の場所とか、統一して全部付けた方がいいんじゃないかと思います。そうすると1番の施設が綺麗な「場所」となってつけにくいと思いました。

事務局

語尾は統一したいと思います。

綺麗というのは雰囲気も含んでいるので難しい。

議長

いかがでしょう、ご自身が丸を付ける時の表現として。

國友委員

1、5、6、7は雰囲気とか状態ですね。綺麗だったり誰か人がいる、静かだ、開放的だと、それから体験が出てきて仲間がいるとか。順番を入れ替えて受け止めやすくしたら。

事務局

ありがとうございます。選択肢を入れ替えたいと思います。

國友委員

個人的な意見ですが、居心地がいい場所で思い浮かんだのが畑なんです。そういうのは12番を選んで、例えば海が好き。山が好きといった自然の中にいると居心地がいい場合は施設にならないが。

事務局

基本的にはサードプレイスは施設です。

國友委員

施設ですか、了解しました。

秋山委員

行きつけになっている場所に公民館を追加してもらいたい。

公民館が地域活動の拠点である方もたくさんおられるだろう。なので、その他に含めるのではなく、項目の一つにしてもらいたいし、ここに回答がたくさんあったら嬉しいと思います。

事務局

公民館は付け加えます。

続いて前回のご意見を反映して、リーパスプラザ4館をそれぞれ分けた設問にしております。回答も分けたことにより、家から近いを立ち寄りやすいに変えたりと変化させており、赤字で訂正しています。4館の最後に自由記載欄を設けました。また、リーパスカレッジについても、その他の記述欄を削除して、最後に自由記載欄に統一しています。

生涯学習をしている方、いない方の32番から49番に関しては、前回行き着かなかったところになります。その後皆さまからの追加の意見はなかったもので、そのままになっております。

リーパスプラザを4つに分けて増えたため、49問とかなりの設問数となっております、集中

力の続くギリギリのところかなと思います。

井浦議長

はいと答えた人が総回答数 43 問でいいえの人が 39 問ですかね。

事務局

それから最後のリーパスプラザ地図というのは、所在地を示すものではなく、リーパスプラザのうち中央公民館、交流館、図書館、歴史資料館はそれぞれこれですというのを分かりやすくしたものです。

井浦議長

それは最後につくんですよね。でしたら設問のところに説明を 1 行入れたらいいと思います。最終ページご覧ください、4 館で構成されてますよって方が館と名前が一致して答えやすくなる。

國友委員

12 番の前に説明淹れるなら、設問はその後ろにした方がいい。

事務局

ありがとうございます。31 番についても同様にしたいと思います。

秋山委員

今回の計画策定にパブリックコメントは予定されていますか。もしあるなら、いつパブリックコメントにもご意見をお願いしますとかあれば。

事務局

現段階ではパブリックコメントをいつ頃行うかが想像がつかないため記載は難しいです。今後の流れとしては、このアンケートについては、完成後印刷に出します。同時に市のデジタル推進課で 18 歳以上 1800 人を抽出するが、完全な無作為ではなく、年齢は若い人からお年寄りまで、住所地や性別もどちらかに偏らないよう留意して抽出を行いまして、上手くいけば 10 月中に発送のお手続きが整うかなと思います。

議長

あと 1 か月くらいですね。

事務局

回答期限は余裕をもって11月末日としたいと思います。

当初の予定通り12月中は集計しまして、それから先、分析・調査をしたい。

議長

スケジュールについても併せて確認していきます。よろしいですか。

ではこれで進めていただくようお願いします。

事務局

3番、次回の生涯学習笑顔のつどいについて。テーマを絞り、それに伴い開催月を決めていただけたらと思います。

今まで、第1回から7回までのまとめを作成しております。テーマ、開催月、参加者が記されていますので参考に協議をお願いします。

議長

笑顔のつどいは2回延期して今年7回目を行って、来年度はどうするかという段階に入ってきました。テーマを決めないと時期も決められないので、テーマを決め、対象者を誰にするか固めた上で、早い時期がいいか、年度の終わりに実践発表するのがいいか。今の古賀市を考えながら、テーマを絞っていったらと思います。

事務局

第1回から6回までは、児童や生徒、児童や生徒を支える方々の話についてやってきました。笑顔のつどいは第7回から第2のステージに入っており、もう少し対象年齢、階層を広げようということで、地域活動、DAICOONといった市民活動、それからPTCAは学校のくくりですが、そういった方をパネリストにしていきました。

井浦議長

児童生徒、子育て、家庭教育的な話から、今回は地域づくりに。特にコロナ禍で活動がストップしてしまった現状の中でどうしていこうかというのが第7回でした。

事務局

開催日に関しても、9月が定例でできたのは5回と6回だけですね。第7回は6月に行いましたが、当初は11月で、1月に延期になって6月になった。どの実施時期でも、時期なりの良さがあるとは思いますが。

提案として、市民アンケートに関しては、10月は実施中で議事ではありませんので、今回はこれを持ち帰っていただいて、委員の皆様の母体やバックグラウンドを考えていただいて、ターゲットを考え、どこに届けたいか、それからテーマと適切な開催時期と手順を

踏んだ方が考えやすいのではないかなと思います。

議長

事務局の方から時間をとるという提案がありました。過去の状況からみて開催は早い方なら5月6月で、10月に決めても間に合うとのこと。開催が9月から11月になると時間的にはかなりの余裕が出てきます。内容はこれからの活動の指針となるもの、または今活動しているものを発表してより盛り上げていくなど、方法はあります。

過去のテーマ、第2クールに入っていることを含めて、各自改めて出身母体の活動等を見ていただいて、それから決めることが出来るのではないかという提案です。

國友委員

10月の会議でいきなり出してもらいより、テーマや時期を先に考えてきて、それを見ながら発表という風にした方がいいと思う。

井浦議長

資料を先に作るということですね。

國友委員

それから10月というと、一年の後半になりますよね。会議のメンバーも新しく変わるかもしれないし、そんな中で5月6月の開催は厳しいから、今年度のうちに内容を固めておきたい。

議長

基本、年度内にスケジュール組んで毎年やってますんで、4月になったらすぐ動き出せるようにしましょう。

そのために10月の会議では、資料の一つとして皆さんの意見を提出いただければ。

國友委員

大ホールになったのはいつからでしたっけ。

事務局

3回目からですね。

國友委員

リーパスのこけら落としということでしたよね。

事務局

参加者については、1回2回から数が減っていると思われるかもしれませんが、第1回2回は区長会とかで動員をかけた。ただ、会の趣旨を考えるとそういったご参加は違うんじゃないかと思います。それから会場のキャパの問題も含めて、第3回から人数が減ってます。第5回6回くらいの時に、適正人数は100人くらい、それを目標にしようかという考えになりました。しかしコロナ前ですので、また変えてもいいと思います。

井浦議長

第6回まではアトラクションを見に来る保護者もいて、アトラクションが終わって分科会前に帰っていた。今回は51人で少ないようですが、考えを持った方や聞きたいと思った方が来ていただいていた。最初の発言をされた区長さんも、困っていることを聞いて、あぁいった中身がいいんじゃないかと思いました。

事務局

今回の多目的ホールの座席は80から90くらいで100に満たないくらいです。コロナウイルス感染症から、座席を1メートルあけて配置すると、100人は厳しいくらいです。なので、100人以上を目指すと多目的は狭くなるかと思います。

井浦議長

以前部長と総会で須恵に行ったとき、大きなホールを使ったけれどガラガラで、出ていくのも難しいなという感じでした。それよりは落ち着いたところで、来たい人に来てもらって、そんなイメージで10月に向けて準備をしましょうか。

事務局

アイデアをまとめやすいようノートのようなものをお送りしたいと思います。

では委員から情報提供。國友委員から資料いただいています。令和3年度幼児を養育する保護者の家庭教育に関する調査について、津屋崎ランチについていただいております。

國友委員

この2つの資料は9月9日に社会教育総合センターの社会教育・生涯学習担当職員研修会の実践編でいただいたものです。この子育て、家庭教育についてのダイジェスト版では3歳から5歳の保護者が対象ですが、コミュニケーションやスキンシップの部分が、5年ごとにまとめられています。傾向とかが掴みやすい資料かなと思いました。

もう一つ、山内さんという津屋崎ランチの代表さんですが、家庭教育でファシリテーターと呼ばれたのがきっかけで津屋崎に移住してきて、地域活動で盛り上げている方

のお話でした。色々変わったことをしておられて、市民が先生、お医者さんが生徒となった教室で語り合ったり、大人と中学生が語り合ったり。こういうのも少人数からスタートしたようですが、思いがあれば人数は関係ないですね。

で、まちづくりの哲学というのが紹介されている。まず一番に組織を作ろう、どうやって集めるか声をかけるかって考えるけど、やっぱり質を作ることが目的ではないか。人は子どものころにいい思い出のある場所に子どもを産みに戻ったり、そういう子どもの環境づくりが地域には必要なのかなと。

これはって思ったのが、年下を尊敬する文化が必要だということです。どうしても年上の人に年下が従うようになってしまうから、いい考え方だなと。

活動も1回限りならイベントだけど、30年続けたら文化になるってあたりが、見習わないといけないと思いました。

この研修が新鮮な考え方で自分を見直すいいきっかけだったので、紹介いたしました。

議長

社教センターの資料は社教センターのホームページに色々載せてありますので参考にしてください。

事務局

事務局からは2点。福岡県の社会教育委員研究大会は11月8日に行われる予定でしたが、10日に変更になりました。

次は11月16日福岡ブロックの社会教育研修。どちらも平日になっていますので参加は難しいかもしれませんがよろしく願いいたします。

また、九州ブロック大会については丸井委員が参加していただくことになりましたので、私と二人で行きたいと思います。動画配信の方は次回お話しさせていただきます。

議長

では次回の会議の日程について

～日程調整～

議長

先程の話からいくと、事務局からテーマや日程の様式を送っていただくのが今月いっぱいということで、14日くらいまでにご意見をいただく。で、18日に会議。

國友委員

堺先生と丸井さんにも確認をとってもらった方がいい。

事務局

会場につきましてはここ 103 洋室としたいと思います。

角森副議長

では本日もお疲れ様でした。ありがとうございました。